

第3期中野市保育所整備計画（素案）に対する意見とそれに対する市の考え方

- (1) 募集期間 令和7年9月1日（月）～9月30日（火）
- (2) 意見提出 4名 ※郵送・持参1名、LINE 3名
- (3) 意見件数 4件

意見の概要（原文）	市の考え方
<p>＜意見1＞</p> <p>■保育園整備は将来の中野市の人口減少防止の為、必要な事業だと思います！同時に中野市に移住しても不安の無い育成と就労先の安定が、不可欠だと思います。その為にも大手企業などの誘致、農業収入の安定が必要だと思います。</p>	<p>＜回答1＞</p> <p>■ご意見として承り、子どもにとって、安心・安全な保育環境の提供を目指してまいります。</p>
<p>＜意見2＞</p> <p>■少子化進行で保育園減少は仕方ないのでは。子供が地域にまんべんなく増える施策を望む。</p>	<p>＜回答2＞</p> <p>■ご意見として承り、子どもにとって、安心・安全な保育環境の提供を目指してまいります。</p>
<p>＜意見3＞</p> <p>■3・4年前保育園の給食室が無くなるかもと言われてすごく心配していたが今は戻っているようで安心した。バランスも味も良く、お友達と食べるので食育の面でも親としてとても頼りにしていたので。財源があるのであれば保育料無償化も良いが無いのであれば（給食費も含め）必要最低限はいただき、その代わりしっかり安定の保育を提供するほうが支持されると思う。 【以下、本計画に係るご意見ではないため、担当課へ共有いたします。】</p>	<p>＜回答3＞</p> <p>■給食提供について、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」で自園調理が原則のため、給食設備を廃止する予定はありません。今後も、安心・安全、かつ園児に喜んでいただける給食提供を行ってまいります。</p>
<p>＜意見4＞</p> <p>■「三位一体の改革」は、改革による急激な歳入不足と地方への負担増が、住民サービスの低下や都市と地方の格差拡大を助長したことです。この改革は国庫補助負担金の改革、税源移譲、地方交付税改革を一体的に行い、地方の自立と責任を確立することを目指しましたが、実施後に財政運営に大きな影響が出たと指摘されています。改革によって地方自治体の歳入が急激に不足し、財政運営に大きな負担がかかりました。その結果、住民に身近な行政サービスが削減され、住民からの不満につながりました。また、行政サービスに係る職員の働き方も変えられました。また、地方間の格差を生じ、歳入不足は、都市と地方の格差をむしろ助長する結果を招きまし</p>	<p>＜回答4＞</p> <p>■少子化や保育ニーズの多様化など時代の要請に適切に対応していくため、公立保育所の役割を明確化したうえで、公立・民間を含めた市全体での保育の供給体制を計画的に推進していく必要があります。松川保育園につきましては、施設の老朽化が著しいことや、今後、就学前児童の更なる減少が見込まれること、近隣の保育施設で保育需要を満たすことができることから、安心・安全な保育園運営を行うため、令和12年度末を目標に廃止するものです。</p>

た。国の関与が縮小され、地方が本来持つべき財源と権限の拡大が目指されましたが、実質的には地方自治体の財政負担が増加する形となりました。それを踏まえまして、中野市行政は、市民にとってのサービスとは何なのかを見直すべきではないでしょうか？松川保育園は居住区児童数率が91.9%と、地元で愛されている保育所を、廃止にするのではなく、規模（延床面積）を縮小改修工事をし、床面積を減らした分、駐車場の拡張の検討を願います。児童福祉施設設置基準法（厚労省）で利用されている児童率から調べると、延床面積は、現在の延べ床面積よりも半分にしてでも十分運営できる基準だと思います。廃止にしまわす、規模を小さくして、地域に残すことを願います。

■6ページ下の図で定員数に誤りがあります。認定区別1号～3号まで含めると、マリア定数170人新高丘の定員は90人、新平野が定員160人です。

■令和7年度の税収が27,094,000,000円に対して、公立保育運営費が1,140,890,000円。比率は全体の4%しか比率掛かっておりません。公的保育施設運営費が全体の4%。たったの4%って何処が市税の圧迫と言えるのですか？私達、中野市民が頑張って汗水流して稼いだ血税を、中野市民の為に使ってください。中野市民で良かった。中野市民で安心した。中野市で子育てがしたい。中野市で子を産みたい。市民から、そう思ってもらえる様な行政を務めてください。真面目にやってきた人が、報われる中野市を目指しませんか？最後に個人的な意見ですが、保育施設＝サービスではなく、子供達の探求心を育てる場だと思います。その地域、その地域で、施設や環境づくりを行政は、大切に保持して、維持していくことが一丁目一番地ではないでしょうか？

■本計画においては、ご家庭で日々児童を保育することができず、保育を必要とする世帯への環境等を整備する計画であるため、2号認定及び3号認定の定員を記載しています。

■ご意見として承り、子どもにとって、安心・安全な保育環境の提供を目指してまいります。